

県育成会便り とともに

第5号

社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会 令和4年1月1日発行



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスに振り回された一年でした。しかも年末には、新しいオミクロン株も出現し、その対策は今年に持ち越されています。マスク、手洗い、密回避の基本対策を徹底することが必要です。

一年延期の東京オリンピックは、緊急事態宣言が発令されている中、無観客で開催されましたが、特にパラリンピックでの選手の活躍や閉会式でのパフォーマンスでは、障害の有無を超えて、多様性を尊重し合う「共生社会」の意義が発信されました。

ところで、今年の干支（えと）は、壬寅（みずのえとら）です。虎は、昔の中国では百獸の王と言われていたそうです。虎にちなんだ話は、虎の尾を踏む、虎の威を借る狐などがありますが、中国の故事「礼記」にも、次のような話が残っております。

孔子が弟子を連れて旅行中、ある墓場のわきで泣いている婦人がおりました。大変哀しそうなのでその婦人にわけをたずねると、婦人は、昔、自分の夫とその親が虎に噛み殺され、その悲しみのたえないうちに、今度は大切な我が子まで虎に食われたのだと一身の不遇を物語りました。驚いた孔子が、ではなぜこの地を去らないのか、といいますと、その婦人は「でもこの地は苛酷な政治が行われていませんから」と答えました。この話に感じた孔子は、弟子たちに向かい「君たちもよく覚えておくとよい。苛政は虎よりも猛し」と教えたとのことです。これは、今日でも政治や行政にたずさわる人々が耳を傾ける教えだと思います。苛政とは、きびしくむごい政治。悪法・重税・苦役などで、人民を苦しめ生活に干渉する政治と辞典にあります。

(会長 川村 隼秋)

令和3年度知的障がい者相談員研修会

今年度の熊本県知的障がい者相談員研修会を、令和3年12月8日（水）に県庁地下大会議室で開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間を短縮して午前中のみでしたが、今回は終日で開催することができました。

講演は、アンケートなどで希望が多かった「成年後見制度」について熊本家庭裁判所の書記官にお話しいただきました。参加者からは、「基本的なことから具体的な事例まで聞くことができ、相談があつても何らかの対応ができるそうだ。」といった感想がありました。実践報告は、宇城市の北島さんと荒尾市の中川さんから、苦労話も交えて実情をお話しいただきました。また、今回初めて「多重債務相談窓口」について九州財務局の多重債務相談員に説明していただきました。資料をいただいているので必要な方は県育成会事務局へお知らせください。関係の皆様にお礼申し上げます。

【参加者総数：61人】

知的障がい者相談員・生活協力員：38人

地域振興局・市町村関係者：13人、講師・事務局：10人



【開会の様子】



【実践報告】

【ありがとうございました】
—ギフト商品購入のお礼—

12月には「ふれあい喫茶りんどう」の運営資金に充てるため、ギフト商品購入のご協力をお願いしました。県庁関係課、特別支援学校、小中学校、地域育成会をはじめ多くの皆様からご購入をいただきました。心よりお礼申し上げます。



厚生労働大臣表彰を受賞

村上 千治さん (熊本市植木町)

10月下旬より、就労継続支援 B型事業所「こまちの森」に通所されている村上千治さんは現在61才で、お母さんと二人暮らしです。聞くところによると、一度もけんかをしたことがないとても仲の良い母子とのことです。

村上さんは、熊本大学附属養護学校高等部を卒業し、先生方のご支援のもと、卵焼きを作る会社に就職され、厚焼き玉子を上手に作れるまでになりました。社長も喜ばれ、「お嫁さんを探さなければ」とまで言われていたそうですが、急遽、会社を閉じることが決まりました。すぐに恩師に相談して、ハローワークで化血研（現在はKMバイオロジクス）の障がい者雇用の募集を見て、会社見学に行き「この仕事だったら僕にも出来る。」と言い雇用が決まったそうです。雨にも風にも負けず、仕事を休むことなく、たまには弁当も自分で作り、路線バスで通勤。その真面目さが認められ、会社からの推薦で厚生労働大臣表彰を受賞されました。コロナ禍でなければ、東京での表彰式に行かれたのにとお母さんは残念がっていました。この栄誉ある賞は、現在就労している障がいのある人の目標となり、これから障がい者雇用の促進にも繋がる素晴らしいことなので、ぜひ皆さんに紹介したいと思い報告させていただきました。

村上さんは、県育成会の本人部会「あすなろ会」の会長をされ、本人活動の中心的存在でした。以前、植木町育成会の会合で村上さんを拝見したございました。その時にはピンクレディのダンスを完全に覚え、笑顔で踊っていた穏やかな青年というイメージでした。定年退職後、こまちの森に通所されて2ヶ月弱ですが、体育館や外回りの清掃、内職などに手を抜くことなく取組まれ、すぐに以前から通所している仲間達とも仲良く作業をされ、こまちの森にとっても、かけがえのない存在になっています。これからは、少し力を抜き、楽しみながら仕事を続けていかれることを願っています。

（文 こまちの森 大富 菊江）



【全育連】 ー 本の紹介 ー



ひとりだち
(2021改訂版)

ひとりだちを目指すための生活や仕事など世の中のしくみを知る手引きになる本

¥1,320(税込)



あたらしいほうりつの本
(2018改訂版)

障がいのある人が地域で暮らしていくために必要なサービスをライフステージごと分かりやすく紹介

¥1,320(税込)

在庫あります。

購入をご希望の方は、県育成会事務局までお知らせください。

＜要望書を提出しました＞

11月9日(火)に県への要望書を提出しました。初めに、県障がい者支援課の下村課長様に行政施策についての要望書を、その後教育庁特別支援教育課の前川審議員様に教育行政施策についての要望書を川村会長からそれぞれ手渡しました。

昨年は、要望事項に対する意見交換会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年度は次の日時に開催の予定です。要望書をまとめるにあたり地域育成会から多くのご意見をいただきありがとうございました。

要望事項に対する県からの回答及び意見交換会の様子は、後日お知らせします。

【県との意見交換会の日時】

令和4年1月28日(金)

- 午後1時30分～ 行政施策
- 午後3時30分～ 教育行政施策

2021 「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり」 絵手紙コンテスト 入賞・入選作品決まる

今年度の絵手紙コンテストの選考会を10月21日(木)に行い、入賞作品3点、入選作品11点が決まりました。今回は、出展者136人、出展作品162作品となり、昨年より増加しました。応募に協力いただいた学校・育成会・事業所他の皆様ありがとうございました。また協賛をいただきましたJA共済連熊本をはじめ、後援団体、選考委員の方々にお礼申し上げます。

入賞作品は、1月から喫茶りんどう展示スペースに展示します。また、県手をつなぐ育成会のHP、Facebookにも掲載しています。

【応募の内訳】 小学校(4校:26点)、中学校(3校:18点)、特別支援学校(3校:19点)、育成会(3育成会:9点)、福祉事業所(8事業所・85点)、一般(4団体:5点)



【県育成会会長賞】
北島宣夫さん(宇城育成会:宇城市)



【JA共済連熊本賞】
木村希来里さん(県立黒石原支援学校)



【審査員特別賞】
鶴山海月さん
(熊本市立桜木中学校)

【入選】

今村明輝さん(県立かもと稻田支援学校:山鹿市)・林田佳奈子さん(アート工房クレヨンの森:錦町)・高橋侑幹さん(熊本市立帯山小学校:熊本市)・山之口正芳さん(県手をつなぐ育成会:益城町)・渕上洋子さん(NPO法人山鹿ゆうあい園:山鹿市)・森浩由記さん(NPO法人山鹿ゆうあい園:山鹿市)・荒巻日咲さん(熊本市立帯山小学校:熊本市)・吉野亞姫さん(熊本市立帯山小学校:熊本市)・皆越照奈さん(アート工房クレヨンの森:錦町)・馬場としのさん(一般:熊本市)・服田貴久子さん(一般:熊本市)

【全育連より】

全育連会長表彰と会長感謝の受賞者が決まりました。今回は、令和2年度と令和3年度の対象者を、一般社団法人発足記念式典(令和2年度・3年度全国大会代替式典)で表彰します。式典の様子は、令和4年1月にユーチューブで公開されます。受賞者は次の方々です。

＜令和2年度＞

会長表彰:猪野 正智様(天草白い雲の会)
会長感謝:牛島 紘也様(山鹿市手をつなぐ育成会)

＜令和3年度＞

会長表彰:永野 ツヤ子様(八代手をつなぐ育成会)
会長感謝:松村 忠彦様(熊本市育成会)

【九育連より】

第60回九州地区手をつなぐ育成会大分県大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常開催を中止し、大会誌の発行(写真)となりました。大会誌は、各地域育成会・事業所にお送りしますのでご覧ください。

また、本大会における表彰者は次の方々です。

＜表彰状＞大木 京子様(熊本市育成会)
池田 よし様(山鹿市育成会)

＜感謝状＞蓑田 保様(八代育成会)

【県育成会事務局より】～JR九州との意見交換～

JR九州から次の目的で意見交換を行いたいというお話をありました。これまで育成会会員の中にはJRの利用やサービスについてお尋ねしたいという意見がありました。今後、意見や要望をまとめJR九州との意見交換に繋げたいと考えています。ご意見・ご要望等がありましたら県育成会事務局へお知らせください。(意見交換会は令和4年2月～3月を予定しています)

- ① JR九州の取組みやその地域に即した利用方法を知っていただく。
- ② 駅を利用される際の困りごとやその解決方法を検討する。
- ③ 積極的かつ能動的なコミュニケーションを構築する。



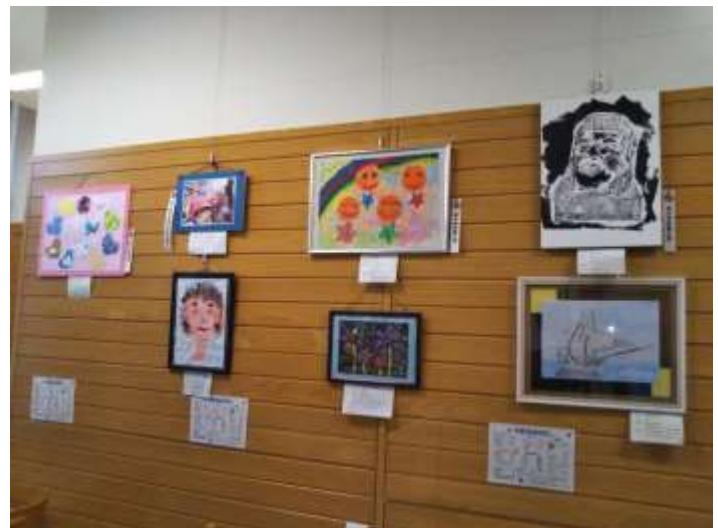
ふれあい喫茶「りんどう」より



＜特別支援学校文化作品展の作品展示＞

11月から12月まで「第6回県内特別支援学校文化作品展」に出演した作品の一部をお借りして展示しました。喫茶りんどうには、関係学校の保護者の方などが来店され力作に見入っていました。特別支援学校長会はじめ関係の皆様に感謝いたします。

1月からは、県育成会が主催した「絵手紙コンテスト」の入賞・入選作品を展示する予定です。



＜ハロウインメニュー＞
来店の方にハロウインを楽しんでいただこうと、当日の日替わりランチはハロウインメニューを準備しました。



会員・賛助会員募集

会員（正会員・個人会員）、賛助会員を募集しています。加入を希望される方は、各地域育成会又は県育成会事務局へご連絡ください。

行事予定（R4年1月～3月）

1月	事務局長会（14日：金） 県への要望に関する意見交換会（28日：金）
2月	ふれあい喫茶りんどう20周年記念感謝の会（4日：金） 九育連役員会③（10日：木・大分市） 事業所協議会研修会（16日：水・熊本市障がい者福祉センター希望荘）
3月	全国育成会フォーラム・行政説明（東京：ユーチューブ配信） 育成会代表者及び事務局長合同会議（東京：オンライン開催） 第5回 理事会（11日：金） 臨時評議員会（3月開催：予定）（17日：木）

『手をつなぐ』購読のご案内

「手をつなぐ」は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発刊する機関誌です。
一部 400円
年間購読料3,900円



社会福祉法人 熊本県手をつなぐ育成会

〒860-0842 熊本市中央区南千反畠町3番7号 熊本県総合福祉センター2F

TEL/FAX 096-352-4149

メールアドレス kuma-ikusei@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosumosuen.com/ikuseikai/index.html> (熊本こすもす園HP内)

フェイスブック <https://www.facebook.com/kuma.ikusei/>